

焼岳(2443m) & 乗鞍岳(3026m) 山行報告

【山行日】2019年 9月 25・26(水・木) 晴れ

【集 合】岩舟支所 AM 3:45

【費 用】マイカー1台 : 18,000円

【メンバー】CL:大西、SL鈴木、安西、五月女、
福島、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 3:45=乗鞍登山口 7:40

~広場 9:30~焼岳山頂 11:20/12:15~

広場 13:20~乗鞍登山口 15:00=青葉荘 16:00

今回は湊沢ヒュッテに泊まって日本一のナナカマドの紅葉を見ましょと計画しましたが、天候が不順で暑い日が続き紅葉が遅れているとの事で、山を替えて紅葉を探しに行く計画と変更しました。25日は焼岳に登る事にし、平日の山行で混む心配もなく登山口に到着しました。

活火山の為ヘルメット必携で皆さんザックに装着し、少し緊張した様子に見受けられました。



山日和の天気で軽やかに歩き出しましたが、中々手強く(寝不足?)雨の後で滑りやすいためか?高度が上がりません。私は5年前に登っているの、記憶を頼りに道案内とっていました。

しかし5年の歳月で体力が低下し、一生懸命登らなければ大変と感じながら歩きました。

残念ながら先頭の私が登りに手を焼いてしまいました。

途中、果物休憩を入れ、少し体調が回復するかと思いましたが頭痛が消えず正直辛かったで

す。

中間の広場に到着見回すとナナカマドは少し色づいているが、色づき具合は天候が暖かいため遅れているようです。

ここでも果物休憩をとり、ヘルメットを被り噴煙をあげている焼岳を目指して登りました。

樹林帯を抜けると木の階段を登るようになり、刈り取られた笹が邪魔で歩きにくい道を登ります。

焼岳の噴煙を確認できる場所まで着き、あと一頑張と思うが高度障害の頭痛は我慢できないほどとなり、やむなく薬を服用して何とか山頂に向かう事が出来ました。(正直面目ない話です)



山頂手前は岩の急登となり、慎重に三点支持で安全に登りあげ山頂でバンザイになりました。



今日はガスが多く期待した360度の展望が望めず、恥ずかしがる槍岳穂高岳を待ちながらゆっくり昼食をとりました。心を込めた暖かいスーさんうどんが振る舞われました。

しばらく待っても晴れないので、明日の乗鞍岳に期待をして下る事にしました。

岩場の下りは慎重に、岩から体を離し足場を確認しながら安全に下りました。

途中振り返りながら焼岳を見て、樹林帯に入ると見えなくなり、まもなく広場に到着しました。

ここでヘルメットを外してザックに入れ、ゆっくり休憩をして登山口まで下りました。

駐車場を出てグレンパークさわんどでトイレ休憩をとり、今夜の宿「青葉荘」に向かいました。今日の宿は温泉が乳白色の素晴らしい温泉宿です。皆さん温泉にゆっくり浸かり、至福のひとときを過ごしました。夕食までの時間はいつもの様に皆さんが部屋に集まって、カップ片手に反省会となりました。今回A西さんから美味しい日本酒が振る舞われ、日本酒党の私は相当はしゃいだようです。夕食は6時30分。合鴨鍋・イワナの塩焼き・馬刺し・天麩羅・煮物・味噌汁・ご飯・葡萄のデザート等々美味しい料理に感謝してワイワイ楽しみながら頂きました。



1時間30分ほど夕食を楽しみ、それぞれ部屋に戻りました。私は階段で足が攣り、温泉に浸かって足が攣るんだなと思いました。徳ちゃんから漢方薬を頂き、直ぐに足攣りは治まりました。床に入るとあっというまに眠りにつき、朝までグッスリ就寝できました。 大西 記

【徳ちゃんの感想文】

今日登った山は、私にとっては忘れられない百名山最後の山『焼岳』です。



もう一度登りたいと何回か計画しても天候に恵まれなかったり、用事が出来たりと中々登れない山でした。それが今回は降って湧いたような形で登れる事となり、嬉しくて前の晩は眠れませんでした。5年前に天候に恵まれ登ったあの時の光景が蘇り、疲れを知らずに頂上まで登り上げました。

頂上はあの時よりチョッと眺望には恵まれませんが、頂上の標識を抱き“ありがとう！ありがとう！”と自然に涙が出てきました。

私は本当に嬉しかったです。

下山もスムーズに下り、参加者の皆さんとハイタッチを交わして喜びを分かち合いました。



今夜は温泉宿です。ゆっくり温泉に浸かり“し・あ・わ・せ”と疲れをとりました。

反省会、美味しいお酒・ワイン・ぶどうジュースそれに“つまみ”がたくさん出て宿の食事が食べられないのではと心配しましたが、宿の食事もご馳走がいっぱいでしたが“ぺろり”と完食です。

食後の2度目の温泉には入らず明日の朝に……布団にゴロリ“グーグー”おやすみなさい。

皆様にはお世話になりました。登山中、梨・ぶどう・お菓子、ご馳走様でした。ありがとう！

T・W記

9月26日(木) 晴れ 乗鞍岳(3026m)でミニ縦走 剣ヶ峰～富士見岳～大黒岳

青葉荘7:20＝乗鞍観光センターP7:30/7:45＝畳平9:00/9:15→肩の小屋10:00/10:05→
剣ヶ峰10:55/11:15～肩の小屋11:55/12:25～富士見岳登山口12:35→富士見岳12:45→
大黒岳登山口12:55→大黒岳13:10/13:15→スカイライン口13:35→畳平13:50/14:00＝
乗鞍観光センター14:40/14:50＝岩舟支所18:30

プロローグ

5時に起きて温泉に入った。気持ちよかった。

青葉荘の朝食はコーヒー付きだった。飲みたかったが昨夜Aさんの高級日本酒とS家のワインを飲み過ぎて体が重い。水をたくさん飲むことにした。

観光センターでバスに乗る予定だった。オーダーが運転手さんに勧誘されタクシーになった。待たずに登山口に向かえる。奇しくもSサブリーダーが利用したことのある運転手さんだった。

乗鞍エコーライン途中の位ヶ原山荘登山口から登る予定だった。運転手さんが10時までには上に行った方が景色がよいと教えてくれたので先ず剣ヶ峰を目指すことになった。よく話す方で観光案内もしてくれた。エコーラインの紅葉の見所で何ヶ所か留まってくれた。南アルプスの展望スポットでは北岳から光岳が見えると説明してくれた。畳平に着いてもサービスで乗鞍スカイラインを少し走り大丹入池等を見せてくれた。畳平でタクシーを降りると運転手さんの方が名残惜しそうだった。



畳平から肩の小屋へ

靴を履いてトイレに向かうとシャトルバスが2台着いた。1時間に1本だが客が多いとバスを増やすとのこと。トイレは空いていたが、出たら満室で並んでいた。早く入ってよかった。

ストレッチ後、案内所のパンフレットをいただいた。「花三味図鑑」。65種。得した気分になった。

畳平の標高は既に2702m。乗鞍バスターミナルの左から階段を下りて行くと右にお花畑が見えた。

今は改修中で入れないとのこと。少し歩いて階段を上り砂利の車道に出た。歩き易い。右下に見える



るハイマツで高山に来たことを感じた。ホシガラスを見つけた。結構いる。ハイマツの実を食べるとのこと。ここはホシガラスの食事場なんだと思った。

左に富士見岳を見ながら進む。右の摩利支天岳上にコロナ観測所のドームが見えている。

右下に神秘的な色の「不消(きえず)ヶ池」が現れた。カーブを右に曲がると剣ヶ峰らしき山が見えた。左の展望がよくなり眼下に乗鞍高原が見える。雲も見下ろす感じた。正面には青い空を背景に3つ

のピーク。左右の遠くの山も下に見えている。肩の小屋を目指して緩い下り坂を気持ちよく歩いた。肩の小屋の休憩場で休憩。ぶどうを食べる。ナガノパープル。種なし、皮ごとOK。剣ヶ峰まで50分と聞き妙に安心する。

見るもの全てが感動の剣ヶ峰

登り始めて朝日岳(2975m)は左を巻くことを知りまた安心する。初めはよく踏まれた道で次第に岩場の道に。溶岩も出てくる。急登になっても50分が頭にあるので楽しみながら登ることができた。

蚕玉岳(2979m)を登りながら岩が白っぽいと感じた。だから蚕玉(こだま)なのかなあと思った。蚕玉岳も山頂近くを巻く道だった。右に標識らしき杭を見ながら緩やかな登りを直進。

岩が黒っぽくなり剣ヶ峰に差し掛かると感じた。

右下に池がはっきり見えてきた。青い権現池。

右上に山々…。一番手前の大日岳を教えてい

ただいた。後で調べたら大日岳に続き屏風岳、薬師岳…。左は高天原。明日から川さんと瀧さんが登るとのこと。

いよいよ剣ヶ峰の岩場。慎重に進む。鳥居が見える。招いているようだ。途中に「頂上小屋(売店のみ)」の看板。右に進む。後で調べたら混雑



時は左の頂上小屋から一方通行で登るとのこと。

頂上近くは岩も大きい。最後の岩場をゆっくり登った。自分にとっては最高地点更新の3026m。早速標識の前で記念撮影。山頂には乗鞍神社奥宮があった。なんと神職さんがいる！毎日ここに出勤？奥宮の周囲を一周。裏にも神社があった。後で調べたらこちらは乗鞍神社。北に穂高・槍、西に白山、南に御嶽山、東に中央・南アルプスがあるとのこと。見るもの全てが感動！

岩の上に腰かけてラスクとみかんをいただく。ゆっくり眺望を堪能する。聞いても登ってない山はよく判らない。仕方がないと思う。OリーダーとWさんは記念に鈴を購入。

肩の小屋で美味しいラーメン

20分程ゆっくりした後慎重に下る。体は疲れてないので足取りは軽い。周囲の景色をチラッと見ながらどんどん下りて行く。蚕玉岳の頂上にも寄った。杭を見たら直進して下る。白い道、溶岩を堪能。朝日岳の岩道も楽しく下りる。あつと言う間に肩の小屋へ。

肩の小屋の休憩場でSサブリーダーがラーメンを作ってください。今登ってきた3026mをしみじみ眺めている内にでき上がっていた。昨日は自分がやったので本日はAさんが配食をやってくれた。ピークを眺めながら甘いキャベツの入ったラーメンをいただく。美味しい！

いつものことだが楽しいランチの時間はあつという間に終わる。

昨日は剣ヶ峰から下りてきたら魔王岳に登ると聞いていた。本日は壘平から登った分、富士見岳と大黒岳の2つに変更とのこと。食事の後の登りは嫌だなあと言っていると、そんなことでは大きい山に行けないとSサブリーダーが言う。それは解ってはいる。。

富士見岳・大黒岳を縦走

肩の小屋から車道を緩く登りカーブを左に曲がると左下に不消ヶ池。正面に富士見岳(2817m)。



登りの時は下から見上げる感じが強かった。今度はなだらかな山に見えたので安心する。富士見岳登山口から見ると程々の傾斜。傾斜を登り平らな道、また傾斜。皆さん気合を入れて登っている。10分と表示されたところを正味7分。山頂標識前で証拠の記念撮影。さつと眺望を楽しむ。天気をもっとよければ富士山が見えるのだろう。あの辺りかなあ。。S月女さんの砂糖漬けレモンが美味しかった。Oリーダーは帰りの車酔い防止でお昼の量を少なくしていた。甘いレモン汁

で元気が出たとのこと。よかった。

反対側はガレていたがさっさと下りて行く。左に鶴ヶ池が見えた。下りると大黒岳登山口。右手に県境ゲート。そうだ、ここは岐阜県なのだ。ゲートの向こうは長野県。

大黒岳(2772m)は緩やかな登りの階段。Sサブリーダーは15分と言ったが20分の表示。えっと思うが楽しんで登る。登りはこれで最後と思いながら。。岩場になり頂上かなと思ってもまだ平坦の道があった。進むと熊の鐘があった。小屋が見えた。石の休憩所。ご来光の時利用できるとのこと。正味13分。山頂標識前で記念撮影。丸い案内板もあった。穂高・槍はガスの中。。手前の焼岳は見えた。登った山は分かる。



反対側へ下りて行く。直ぐにハイマツの海になった。

食べ残しの実がたくさん落ちている。これは熊が食べた跡だとSサブリーダーが言う。

緩やかに下りるがなかなか着かない。反対の登山口へは20分かかった。左に尖った山が見えた。後で調べたら烏帽子岳。

畳平へアスファルトの道を歩く。緩い登りだが疲れているので結構きつい。右に魔王岳が見えている。その向こう側を目指してひたすら歩く。左に鶴ヶ池が見えた時はほっとした。

エピローグ

畳平で約束していた今朝のタクシーに乗った。運転手さんの言う通り、朝と帰りは紅葉の色が違う。今の時間帯の方が赤黄が濃く太陽光が柔らかい。いい感じた。途中運転手さんに次の予約が入った。運転手さんは観光センターで次のお客さんを乗せご機嫌で白骨温泉に向かった。

リーダーは眠気覚ましのため運転前にコーヒーを飲む。購入のためコンビニに寄った。なんと、りんごやぶどうを売っている。シャインマスカット、ナガノパープルが棚にどっさり。巨峰、ナイアガラも。さすが長野県のSイレブンと感心した。住所は松本市波田。せっかくなので自宅用に安価なナイアガラと訳アリ巨峰を購入。

トイレ休憩は甘楽PA。AさんとS月女さんは売店でネギを購入。細くて柔らかそうなネギだった。買えばよかったかな。。

車中ではAさんが参加する11月の屋久島&開聞岳の話で盛り上がった。寝袋やテントの話が勉強になった。

平日で渋滞はなく予定通り岩舟支所に無事帰着した。

(福島 記)